

# 次期総合計画の策定に向けて 検討市民委員会からの提言



平成29(2017)年10月23日

士別市次期総合計画検討市民委員会

## 次期総合計画の策定に向けての提言書

私たちは、これまで、次期総合計画の基本構想や特定課題である公共施設マネジメント基本計画の策定に向けて検討を重ねてきました。公共施設マネジメント基本計画については、本年2月に提言を行ったところであり、次期総合計画に反映させるなかで、着実な推進を求めるものです。

本提言書は、次期総合計画の策定にあたって、これからの士別市のまちづくりの方向性や進め方について、「多くの市民の参加・参画のもと、幅広い意見の集約を図る」との方針にもとづき、本委員会において、行った検討結果をとりまとめたものです。

総合計画は、今後のまちづくりの方向性を明らかにするものですが、それは、行政運営の基本指針であるとともに、市民活動の行動指針ともなる重要な計画です。

今後、具体的に取り組みを進めていくうえでは、様々な課題の解決が必要となりますが、市民の理解を深めつつ、さらには、議会との連携の下、本市における都市像のめざすべき姿の実現に向け、行政としての一層の努力を求めます。

提言にあたっては、次期総合計画における「基本構想」や本市のイメージに直結する「わがまちの個性」について、先に、実施された、「市民アンケート調査」結果などをもとに、委員会で行ったワークショップなど、市民の視点に立った議論と検討を進めてきたところです。ついては、次のとおり、次期総合計画策定に向けて、提言します。

平成 29(2017)年 10月 23日

士別市長 牧 野 勇 司 様

士別市次期総合計画検討市民委員会

委員長 齊 木 勲

## 1. 「基本構想」 に関する提言

### (1) めざす都市像について

まちづくりにおける、「めざす都市像」は、包括的かつ普遍的であり、市民に深く定着させるためにも長期的なものとして掲げ、実現に向けて歩みを進めていくべきものであることから、現在の総合計画で掲げる都市像を引き継ぐべきと考えます。

### (2) 基本理念について

市民アンケート調査の結果を踏まえ、現在の総合計画で定める基本理念である「地域力によるまちづくり」をさらに推進していくべきと考えます。また、地域力を高めていくために、地域力の構成に新たに「地区の力」を加え、各地域と行政が連携したまちづくりを推進するべきと考えます。

## 2. 「わがまちの個性」 に関する提言

### (1) 新たな個性の追加について

市民アンケート調査での「地域資源に関する設問」において、農業に関する項目が高く評価される結果となっています。本市の農業は、恵まれた大地と水、寒暖差のある気候風土のもと、水稻を中心とした多種多様な農業経営のもとに発展を遂げており、「北海道農業の縮図」と呼べるものです。また、近年では、北海道で一番の面積を誇る大型ほ場の整備をはじめ、先進的なICT農業の導入など、北海道農業を先導する様々な取り組みが展開されています。以上のことから、現在の5つの個性に、市民が誇れる「まちの顔」として、「農業」を加えるべきと考えます。

### (2) PRの拡大について

わがまちの個性について、十分に浸透しきれていないのが現状です。この素晴らしく個性あふれる土別市をより多くの人達に浸透させるためには、市民へのPRはもとより、市外へ積極的に発信することが重要です。広報紙やインターネットの活用によるPRをはじめ、市外の人たちの視点に立ち、創意工夫を凝らしたPRと情報発信の拡大が必要と考えます。

以上、本計画が、本市の安定的かつ持続的な発展につながることを念願し、提言とします。